

## 中央公民館運営審議会会議概要

- |   |           |                                |
|---|-----------|--------------------------------|
| 1 | 審議会名      | 令和3年度 第2回 中央公民館運営審議会           |
| 2 | 日時        | 令和3年11月5日(金) 午後1時30分～午後2時55分まで |
| 3 | 会場        | 中央公民館 3階 視聴覚室                  |
| 4 | 出席者       | 会長 林理恵委員、金井忠一委員、三村あかね委員        |
| 5 | 欠席者       | 副会長 伴美佐子委員、加々美貴代委員             |
| 6 | 市側出席者     | 小泉館長、櫻井主査                      |
| 7 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開                |
| 8 | 傍聴者       | 0人 記者 0人                       |
| 9 | 会議概要作成年月日 | 令和3年11月19日(金)                  |

### 協議事項等

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

#### 3 報告 (進行:会長)

##### (1) 令和3年度重点目標の達成状況中間報告について(事務局説明)

委員:冷暖房費の徴収について検討するにあたり、県内他市の調査を行ったようだが、徴収している金額について確認したか?

事務局:今回の調査では、徴収の有無についてのみ、お聞きしている。

委員:社会教育施設として、収入にのみ重きをおかず、市民の語らう場となるようにして欲しい。

事務局:公民館に人々が、集い、学び、交流を深める場となるよう、今後も努めていくこととする。

#### 4 協議

##### (1) 新型コロナウイルスの感染警戒レベルに応じた公民館の対応について(事務局説明)

委員:感染レベルが上下した際、フェイスブックなどを利用し、インターネット上で情報発信を行ったかどうか。

事務局:その都度、対応している。

委員:警戒レベルが上がり、公民館が閉鎖する事態となったが、利用者からの反応はどういうものだったか。

事務局:利用者によって反応は様々。残念だと言う声や、コロナ禍における中央公民館のこれまでの対応に感謝する言葉もいただいている。

委員:新型コロナの感染対策については、各自がマスク着用するなど個人でできることは皆、実行している。公民館事業についても、きちんと対策を施した上で、できるだけ実施していくべき。そうでないと、事業の進め方など引継ぎがうまくできなくなる。

会長:施設内を除菌している様子をHPなどで公開すると、利用者も安心して利用できるのではないか。入口で職員が来館者をお迎えし、注意を促すなどの工夫も必要。感染を拡大させないため、対応をしっかりと確立させることが重要である。個人の感染を食い止めることで、全体に影響が及ぶことを防ぐことができる。

(2) 諮問事項「コロナ禍における中央公民館事業のあり方」について

委員：万が一、感染が起きた際の連絡体制をしっかりとしておくことも重要となる。

会長：今回の諮問は、感染対応を前面に押し出したものだが、あまりコロナ対策だけにこだわらない方が良いのではないか。公民館本来の役割について考え、人々が繋がり、見つめ合うにはどうしたら良いかを考えることが大切となる。第一中学校では、不登校の生徒が多くいる中、今年度のテーマを「つながりあう・認め合う」としている。公民館においても、そういう感覚が大切ではないか。

委員：公民館や市からの一方的な情報発信ではなく、利用者や市民との双方向でのやりとりがあったほうが良いと思う。

会長：今回は、各委員が諮問事項に対する意見や考えを述べていただき、その内容をまとめて、提言内容に対する参考とするようにしたい。

5 閉会